

第1回 檜尾小学校の再編に向けた黒瀬谷地区のあり方協議会 議事概要

開催日：令和4年8月26日（金）

開催時間：19時～20時10分

開催場所：黒瀬谷交流センター

出席者：宮田会長、村杉副会長、山岸委員、岩脇委員、沖野委員、吉田委員、
松田委員、平井監事

事務局：教育委員会事務局次長 古西 達也
学校再編推進課長 山口 雅之
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主任 村石 篤彦

《開会》

【司会】 第1回檜尾小学校の再編に向けた黒瀬谷地区のあり方協議会を開催する。

(出席者紹介)

【司会】 本日、都合により2名が欠席です。

(事務局紹介)

(古西 教育委員会事務局次長 挨拶)

《事務局説明》

【司会】 これから進める地域協議の流れと、協議会での議論の進め方について事務局より説明する。

【学校再編推進課長】 (地域協議の流れ及び協議会での議論の進め方について説明)

《議事進行》

【司会】 議事に入る前に、協議会の会長が決まるまでの間、黒瀬谷地区自治振興会会長に議長をお願いしたいと考えるが、異議はあるか。

(異議なし)

【司会】 承認いただいたため、会長へお願いする。

【会長】 しばらくの間、仮議長を務める。議事についてはあらかじめ手元に配っている次第に従い行う。

《議題進行：議案第1号～第3号》

【会長】 はじめに、議案第1号「協議会会則(案)」、議案第2号「役員を選出」、

議案第3号「予算案」について、一括して議題としたい。事務局から説明を求める。

【学校再編推進課長】 (議案第1号～議案第3号について説明)

【会長】 議案第1号から第3号について、質疑・異議はあるか。
(質疑・異議なし)

【会長】 異議なしと認める。

よって、議案第1号から第3号については、原案のとおり可決する。

【会長】 本協議会の会長にご指名いただいたので、一言ご挨拶申し上げます。
(会長 挨拶)

《意見交換》

【会長】 それでは私の方で議事を進行する。

まずは、檜尾小学校の学校再編の方向性について意見交換を行いたい。

【会長】 自治振興会の立場から言うと、学校は絶対なくしてはいけない。学校は置いておきたい。建物だけの話ではなく、「子供達を通い、その中で声が聞こえる」というような形で残したいということ。ただ、現状難しいとは思っている。

【委員】 役員会等でも話はしていた。統合の方向でいきたいという意見が出ている。知っている限りでは来年に小学生が入ってこない。そういう状況であることから、子供達のため、今後の運営などの課題を考えた時に統合の方向性で良いのでは。

【会長】 ここ10年ほど地域全体を見ていると、自主的にそれなりの人数のいる学校へ通わせるために、住居を移転するということが行われている。子供達のことを考えると1クラス最低でも20人くらいは必要ではないか。これから学校統合の話の前向きに進めていかないと、最後に犠牲になるのは子供達。

学校が新しいのに誰も通わなくなるというのは寂しいが、子供達のことを最優先に考えてあげるべき。

【委員】 自分の子供の意見としては、統合で人数が増えることは友達が増えるから嬉しいと言われた。

黒瀬谷地区の行事に参加すると、子供としては知り合いがおらず緊張している。八尾小学校の行事だと楽しんでいるので、統合することで、黒瀬谷地区でも学校以外の楽しみが増えれば良いと考えている。

【会長】 子供達は黒瀬谷地区・八尾地区ということとはあまり関係がない。大人がそのような違いを生み出してしまっている部分もあるかもしれない。

【委員】 現在、黒瀬谷地区から八尾小学校や杉原小学校に通っている子供達がいる。

例えば今後、檜尾小学校が八尾小学校と統合したとなった時に、杉原小学校に通っている子についてはそのまま通わせてあげてほしい。親御さん達の考えや事情もあって行っているわけだから、八尾小学校に必ず来てということはやめてもらいたい。

【会長】 現時点では一次統合という形で事務局から出ているが、その後の最終統合等に話が進むときに、事務局として統合する目途はあるのか。

【学校再編推進課長】 再編対象校となっている校区とそれ以外の校区では学校再編に対する受け止め方にかなりの温度差があると感じている。

檜尾小学校のある黒瀬谷地区のように再編対象校区となっているところは自分事として議論は起こっているが、それ以外の校区では議論らしいものはされていない。

ただ、現状まだそういった意識が全市的には共有されていないため、正直なところいつまでという目途は言えないが、過去の例として、例えば八尾中学校を統合したときを見ても最終統合までは四・五年は最短でもかかるのではないかと考えている。

【委員】 今は児童数が25人と聞くと、たったそれだけしかいないのかという思いである。

私がいたときは戦後のベビーブーム後ということもあり、学年は1クラスで20人ほどだった。そのくらいのが全校児童なのかと思うと可哀想だと感じる。

親御さん達からは統合に賛成という話も聞くため、統合の方向で進めていく方が良いのでは。

【委員】 晴巒台は黒瀬谷地区で、檜尾小学校校区ですが、檜尾小学校に通っているのは1人だけで、あとは全員八尾小学校。

小学校が違うと同じ団地内なのに交流もなく、晴巒台に住んでいるから、晴巒台の児童クラブに入ってほしいと思っても、通っている小学校が違うため、そういうわけにもいかない。

こういった事情もあり、気持ちとしては早く八尾小学校と統合して欲しいと感じている。

【委員】 八尾小学校と統合したとすると、八尾小学校が中心となった行事になりそう。良い面もあるかと思うが、黒瀬谷地区の今まで培っていた行事や特色が引き継がれなくなるのでは、子供達が知らないということにならないか、という心配がある。

ただ、子供達の事を思うと統合も仕方ないと感じるため、統合した後も黒瀬谷地区の活性化になるような取り組みをして地域の活性化が損なわれないようにしていきたい。

【会長】 一通り話してもらった。説明会(4/24)の後の地域の意見や、本日の意見でも統合する方向性かと思う。

本日の会議の内容は協議会だより等で地域に伝えてほしい。

- 【学校再編推進課長】 どのタイミングで協議会だよりを出すかは今後相談させていただく。
- 【会長】 本日の意見を聞いていると、子供達のことを考えるとできるだけ早急に統合するという方向性だと思う。
- とりあえず地域の皆さんに知らせてもらい、そこでまた意見が出てくるかもしれないので、協議会だよりは必要。
- 本日の締めとしては、檜尾小学校はできるだけ速やかにどこかの小学校と統合すると決定してよろしいか。

(異議なし)

- 【会長】 それでは、統合先を次回意見交換するため、その参考として事務局から八尾地域の小学校の状況について説明してください。

【学校再編推進課長】 (八尾地域の小学校の状況について説明)

- 【会長】 今、八尾地域にある4小学校の概要を事務局から説明してもらった。現在黒瀬谷地区から他校へ通っているのは八尾小学校が多いこともある。次回どこの小学校にするかということを決めていきたいので、次回、事務局では八尾小学校と統合した際の状況等を説明してほしい。委員の皆さんは地域において、どういった意見があったか・なかったかということの色々聞いておいてもらいたい。
- 次回の日程について、事務局では案があるか。

【学校再編推進課長】 9月下旬ごろで調整させていただく。

【会長】 何か他にご意見はあるか。

【委員】 統合までの大体のスケジュールはどのようになるか。

【学校再編推進課長】 学校間の交流授業やスクールバス等の通学路等の決め事等があるため、最短であれば令和6年4月で考えている。

【会長】 他にご意見はあるか。

(意見・質問なし)

【会長】 最後に事務局から連絡事項等はあるか。

《閉会》

【司会】 第2回の協議会は、9月下旬ごろで調整させていただき、場所は同じく黒瀬谷交流センターにて開催する。後日改めて詳細を案内する。

以上をもって、第1回檜尾小学校の再編に向けた黒瀬谷地区のあり方協議会を終了する。